



真宗大谷派 (東本願寺) 天満別院

六字城

719号
2024
10/1

大阪市北区東天満1-8-26
06-6351-3535
代表者 輪番・奥林 曉

鹿王ニグロダ

遠い昔のインドです。鹿の肉が大好きな王様が政治もそのけで鹿狩りに熱中していました。鹿狩りにお供させられる人々も森の鹿たちも毎日酷い目に遭っていました。

「王様このままでは、たくさんの鹿が毎日ひどく傷ついてしまいます。森も田畑も荒れるばかり民も疲弊するばかりです。王宮の森に鹿を囲いこんでそこから一頭ずつ調理場へ鹿を連れていくことになさいますか」と大臣が提案、王様はしぶしぶ承知しました。

鹿は五百頭ずつ二つの群れがあり、それぞれに王がいて一方はニグロダ、お釈迦様の前生で、もう一方はサーカ、提婆達多の前生でした。鹿の王たちは命が保証されていました。ある日サーカの群れの妊娠中の鹿が調理場へ運ばれる順番に当たりました。

「子供が産まれるまでどうかお待ちください」牝鹿はサーカに必死で頼みました。サーカの「ダメだ！」の冷たい一言に、牝鹿はニグロダの許へ行き「私は覚悟ができていますが、お腹の子供の命だけは助けてあげたいのです」と懇願しました。

「わかった。私が代わろう。安心して仔を産

報恩講 お手伝いのお願

来る10月3日(木)～5日(土)、例年の如く天満別院報恩講が勤修されます。つきましてはご門徒の皆様にお手伝いをお願いしたいと存じます。半日だけでも構いません。ご参加いただきませうようお願い申し上げます。

日程 10月4日(金) 9時～17時まで
10月5日(土) 9時～17時まで

今月の伝道掲示板

人を失った悲しみの深さは

生前にその人から

我が身が受けていた

贈りものの大きさであった

—宮城 顕—

毎年、お盆を迎え、秋の彼岸を迎え報恩講を迎えたら一年が終わったように感じます。

今年も報恩講の時期がやってきました。始まるまでは準備などに追われて余裕のない日々を過ごしていますが、いざ始まればあっという間に終わってしまいます。毎年勤めさせいただいているとはいえやはり本番になると気が引き締まる思いです。

皆さまと一緒にお念仏を称えられよう準備して参りますのでご参拝お待ちしております。(I)

みなさい」ニグロダが優しく言うて調理場へ向かおうとしました。するとニグロダを慕う群れの鹿たちが一斉に「とんでもない。私が代わります」と口々に叫んで調理場への道は大騒ぎになりました。知らせを受けた王様がニグロダに言いました。

「お前とサーカの命の安全を保障してあるぞ」
「はい。私の命は王様から保障して頂きました。ところが私はこれまで何ひとつとして王らしい行いができていないことに気づいて、毎日心がとても痛んでいました。ですから今日このお腹の子供をいとおしむ母の願いに心から喜んでこたえることができます。たった一つでも群れのためになることができたらほっとしているのです」

ニグロダの顔は喜びに輝いています。王様はまるで雷に打たれたようでした。少し平静を取り戻した王様は威厳を取り繕って言いました。

「王はそもそも民に恩恵を施しているのだから、民が王に仕えるのは当然であろう」
「王は国全体を自分の家族と考え、絶えず民のためを考えて自分のことは一番最後にするのが私の考えです」ニグロダの瞳はますます輝いていました。

王様はその輝きに触れて思わず王冠をはずしてニグロダの前に額ずいていました。

提婆達多はお釈迦さまの従弟、教団の指導者を望んで度々お釈迦さまを殺そうとした。(ジャータカ十二番ニグロダ鹿本生物語)

11月

4日	達如上人御祥月御命日	(8時)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
21日	本山御正忌団体参拝	(7時45分出発)
24日	顯如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御正忌遠夜	(14時)
28日	宗祖聖人御正忌晨朝	(8時)
	宗祖聖人御正忌日中	(10時)

天満別院報恩講

10月3・4・5日

皆さまのお参りを
お待ちしております。

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

～ご縁を大切に～

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下る
TEL075-351-6325 FAX075-341-5255
<https://www.kyo-kusaka.jp>

